



発行元
社会福祉法人創樹会
広島県福山市水呑町7187番地1
TEL (084)956-0255
FAX (084)956-5749

県内での緊急事態宣言、自粛、PCR検査、ワクチン接種。生活の変化に戸惑いながら、それでも皆で知恵を出し合い対応している状況です。帰省や外出、面会の自粛など、ご家族の皆様のご理解とご協力に感謝しております。

コロナ禍については、いつまで続くのか先の見えない中での対応を求められています。有効性や安全性に疑問の声も聞こえてくる中、コロナワクチンの接種が始まりました。今回ほどワクチンについて真剣に考えたことはなかったと思います。早期の安心につながればと期待し、接種された方も多いのではないかと思います。また、聞きなれない単語が続出しました。「パンデミック」「クラスター」怖い状況なのは察せませす。「エッセンシャルワーカー」私たち福祉の従事者などを指すらしいです。他にも聞きますが、数年後も使われている単語はどれ程あるでしょう。怖い言葉は残って欲しくありません。

感染症にはかり目が向きがちですが、この時期には水害への備えを怠ることができません。福山市からも避難計画などを作成し、有事の際には落ち着いて行動することを求められています。新しくハザードマップも出されました。私は古い地図を見ることも好きなのですが、重ねてみると「ナルホド」と思います。江戸期の福山藩に干拓された辺りや芦田川沿いでは水害が想定されている箇所が多いようです。意外と福山は以前から水害に悩まされてきたのではないかと考えられます。

私も幼少期から年に数回は道路が水没し、九月辺りだと鮎が道路で跳ねる光景も珍しくなく、隣

少しくらい環境がかわっても

家の裏山の崖が崩れたと大人たちが雨の中、スコップや鍬を持って集まる光景も覚えていました。「あーまた今年も田んぼが浸かったなあー」よく聞いた言葉です。その続きには「じゃけど大丈夫よ。米は育つ」と祖父は必死に言っていました。

水、米、道路、スマホ、薬、私の生活…いつもあるものがそこに在る「日常」。それが無くなったとしたらどう対応するのか。障がいのある彼らの生活を変わず支援し続けるために何をするのか、現在、法人においても津波や土砂災害、洪水、地震など様々な事態を想定し、試行錯誤を重ね、一つ一つの課題に解答を積み上げています。

また、その後の「新しい生活様式」と言われる状態へのスムーズな移行をどう手助けするのか。今できる新しい楽しみは何か。

今年も登園道の桜は咲き、梅・杏は沢山の実をつけています。いろいろなことができなくなる中「何か新しくできることを」ということで、サポートセンター友の家ではアジサイの挿し木を五十本程してみました。予想外に根がしっかりついて花を咲かせ、チョット驚いています。この号が発行される頃には次の挿し木のためにハサミを持ってウロウロしているのではと思います。アジサイは育つ土の質によって花の色が変わるそうです。私たちの生活環境にも変化が起きています。柔軟に対応しキレイな花を咲かせたいと思っています。

サポートセンター友の家 管理者
藤井 豊治

ぶちええね！ 新入生！・新級生！



沼隈特別支援学校
中学一年生



沼隈特別支援学校
中学一年生



沼隈特別支援学校
高校一年生

令和三年度になり福山六方学園では十五名の子どもが進学（六名）、進級（九名）しました。みんな楽しみや不安など様々な想いを持ちながら学校に通っています。

前年度まで幼稚園児だった子どもランドセルが似合う小学一年生になり、学校から帰園後に勉強や宿題を頑張っている姿を見ると成長したなと感じます。

中学生や高校生の子ども達も、更に勉学に励みながら学校生活を送っています。

いつ終息するか分からないコロナ過ではありますが、今後も子ども達が安心安全に学校生活や学園生活が送れるようにスタッフ一同、継続して感染対策を行います。



向丘中学校
中学二年生



水呑小学校
一年生

社会福祉法人創樹会 (<http://soujukai-fukuroku.or.jp>) fukuyamaroppou@soujukai-fukuroku.or.jp)

- 事業所一覧
- 福山六方学園(障害児入所施設)(障害児短期入所事業)(日中一時支援事業)
 - あゆみ苑成人寮(障害者支援施設)(生活介護事業)(短期入所事業)(日中一時支援事業)
 - サポートセンターひびきの家(共同生活援助事業)
 - サポートセンター友の家(共同生活援助事業)
 - サポートセンターかなで(日中サービス支援型共同生活援助)(短期入所)
 - さわらび(生活介護事業)(日中一時支援事業)
 - ヘルパーステーションあしすと(居宅介護・行動援護事業)(移動支援事業)
 - ONE-すてっぷ(児童発達支援事業)(放課後等デイサービス)(日中一時支援事業)(障がい児療育等支援事業)
 - ふぁんたす(放課後等デイサービス)
 - 相談支援センター風ぐるま(一般相談支援事業)(特定相談支援事業)(障がい児相談支援事業)
 - さくら(就労継続支援B型事業)(生活介護事業)

あとがき

蒸し暑い日が続いておりますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。当法人では、コロナウイルスへの感染症対策に尽力しながら、利用者さんやご家族の方にとってストレスのない、楽しい支援がないかと日々、模索しております。まだまだ未熟な点もございますが、今後ともよろしくお祈りいたします。

(編集スタッフ一同)

令和2年度 各事業所の主な事業報告

福山六方学園

- 福山六方学園では加齢児問題（令和3年3月末までに成人施設等に移行）で最大7名の加齢児が在籍していたが、計画通り移行することができ加齢児在籍者1名となった。しかし移行したことにより入所定員が12名まで減り、子ども家庭センターを中心とした行政等と連携することで7名の新規利用児を確保することができ最終的には20名定員中、19名となった。
- コロナ禍で利用されている皆さん・ご家族の皆さんには、帰省や面会・短期入所等の停止により、大変ご迷惑をおかけした一年であった。
- そういった中、利用されている皆さんの小さな変化に気付く支援を心掛けた。

サポートセンターひびきの家

- 最重度利用者の健康生活を維持していくために、事業所配置看護師および法人本部看護師と連携しながら日々の健康管理、定期健診、通院支援を行った。年度途中で利用者2名が逝去されることがあった。感染症対策を行いながら、行事や余暇活動の規模や形態を変えて利用者の生活充実に努めた。

サポートセンター友の家

- 感染症対策を中心に、自身の暮らし方や生き方を十分に納得したうえで選択できるよう支援を行った。感染症対策の影響で、ホームで過ごす時間が多くなり設備の正しい使い方や生活音の近隣への配慮など、普段意識し難い部分のリスク対応について取り組んだ。
- 個々の障がい特性や生活状況に応じた個別の対応を心掛け、医療相談や支援の見直しを行いながら、安心・安全な生活を目指した支援に努めた。職員間で情報共有を行い、職員の精神的なケアに配慮した。

サポートセンターかなで

- 新型コロナウイルスの影響が大きく、行事、外出等、例年できていたことがほとんどできなかった。そんな中、できる限り細やかな配慮をした日課の立案をし、日々の丁寧な受入れを心掛けた。
- 新型コロナウイルスへの対応のため、外出支援が減ったが、散歩や外食のテイクアウト、短時間での買い物など、三密を避けながら利用者や相談して支援を行った。

ONE-すてっぴ

- 児童発達支援すてっぴでは、自分自身に手ごたえを感じ、人に認められる経験を重ねる中で、自己肯定感を高められるよう取り組んだ。
- 放課後等デイサービスONE-すてっぴでは、利用者への直接的支援と同時に、保護者の就労支援・レスパイト的側面も考慮しながら受入を行った。
- 児童一人一人の状況に即した個別支援計画を作成し、それに沿った支援を提供した。学習支援についても一人一人に合わせた課題プリントを準備し、ニーズに対応できるように取り組んだ。

相談支援センター風ぐるま

- 令和2年度は、新型コロナウイルスの感染予防が継続される中、訪問や対面での面談、支援について必要度を検討しながら対策をしつつ相談業務を行った。障がい者総合支援協会や各種研修への参加が難しい1年でもあった。
- 就労継続支援B型事業では平均工賃月額18,508円を支給し、生活介護事業では平均工賃月額10,040円を支給した。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、工賃が減額になってしまった。
- コロナ対策のためWi-Fi環境の整備やiPad・アプリの導入などが進み、迅速な情報共有が可能となった。感染症を持ち込まないことにも大きく役立った。

令和3年度 各事業所の主な事業計画

福山六方学園

- 昨年度、7名の新規利用児を迎え入れたことで施設内の環境も大きく変わった。まずは現在在籍している利用児が安心して安全に過ごせる環境の改善に取り組む。
- 介護度の高い方や医療ケアの必要な方が急増している現状や障がい特性の多様化に合わせ、健康や生活の支援に時間がとれるよう日課変更を行い、個々人への支援充実に図る。
- 障がい特性や高齢期の利用者の心身の特徴を理解・把握し、適切な支援を心掛ける。進む高齢化や行動障がいの利用者に対応するため、法人内外の研修会等へ参加できる体制を整えていく。

サポートセンターひびきの家

- 感染症に対応しながら障がいのある方が地域においてあたりまえの生活を目指すなかで、これからどんな生き方・暮らし方を望むかを選択できるよう支援し、ホームを利用している方たちの居心地の良い生活の場づくりを継続する。
- 生活介護事業の利用が難しい方や、日中ホームで過ごされる方の対応を行い、生活の充実に努める。障がい特性等に配慮した個別の対応を心掛ける。

サポートセンターかなで

- 利用される方及び家族の背景や個々のニーズ・課題を理解した上で、サービスの提供を行う。高齢の家族も多くなってきており、レスパイト等、家族支援の観点も大切にす。
- 新型コロナウイルス等、感染症に対しての感染防止対策に十分配慮しながら、楽しく過ごせる日課、外出、行事等を検討し、計画・実施する。
- 特殊な伝え方が必要な支援や医療的ケアなど、多様な支援に対して、ヘルパーが抱え込まないよう、一人ひとりの自己研鑽に加えてヘルパー間でのブリーフィングやミーティングなどによって足りない知識を補い、継続した支援を行う。

ONE-すてっぴ

- 児童発達支援すてっぴでは、3歳児までは週3日通園を保証し、親子通園のニーズに対しては、そのうちの1回で親子教室を行う。受給者証を必要としない親子教室（外来教室）も継続して行う。
- 放課後等デイサービスONE-すてっぴでは、個別支援計画に沿って、活動が固定化しないようにプログラムを組み、成長・発達に繋がる活動を行っていく。
- 保護者からの聞き取りを基に、アセスメントツールを使い、個別支援計画を作成し、それに沿った支援を行っていく。また保護者の困りごとや悩み、不安等の相談に対する支援を充実させていく。

相談支援センター風ぐるま

- 80・50問題として同居家族の高齢化からの生活スタイル変化や生活の場の見直しをご家族と一緒に考えていくために、今後の方向性や支援体制について情報提供を行っていく。また、各種児童療育事業所や学校などの教育機関との連携を行っていく。
- 障がい者総合支援協会・相談部会へ参加し、福山中央ブロック会での協議や連携を深めていくことで課題やニーズを見つけて協議をおこなっていく。

さくら

- 生活介護事業では、成果を上げることばかりに着目するのではなく、作業が困難である皆さんに日常的に必要な生活支援を行う。
- 就労継続支援B型事業においては、一般就労への採用・就労継続支援A型事業所への移行に向けた取り組みを継続して行う。
- 職員の定着率を維持するため労働環境を整え、より働きやすい職場を目指し新たな人材を求めていく。

法人本部

以上の活動を通して、引き続き「障がいのある人たちの人生を支える」を旨とした「嬉しいサービス」提供事業体として法人関係者が一丸となって精進していく。

令和2年度 決算報告 ~令和2年度事業報告・令和3年度事業計画~

法人単位 資金収支計算書

第一号第一様式
自 令和 2 年 4 月 1 日 至 令和 3 年 3 月 31 日
(単位：千円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	児童福祉事業収入	50,489	53,273	-2,784	
	就労支援事業収入	9,638	8,879	759	
	障害福祉サービス等事業収入	1,168,095	1,181,966	-13,871	
	受取経費寄附金収入	1,850	2,227	-377	
	受取利息配当金収入	12	19	-7	
	その他の収入	13,014	13,589	-575	
	事業活動収入計(1)	1,243,098	1,259,954	-16,856	
	支出				
	人件費支出	918,798	917,233	1,565	
事業費支出	83,444	83,546	-102		
事務費支出	132,802	133,079	-277		
就労支援事業支出	9,310	9,108	202		
支払利息支出	1,511	1,506	5		
その他の支出	6,828	6,345	483		
事業活動支出計(2)	1,152,693	1,150,817	1,876		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	90,405	109,137	-18,732		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	13,175	13,175	0	
	施設整備等収入計(4)	13,175	13,175	0	
	設備資金借入金元金償還支出	23,368	23,377	-9	
	固定資産取得支出	19,758	22,513	-2,755	
その他の活動による収支	支出				
	ファイナンス・リース債務の返済支出	638	640	-2	
	施設整備等支出計(5)	43,764	46,530	-2,766	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-30,589	-33,355	2,766	
その他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入	1,395	1,461	-66	
	その他の活動収入計(7)	1,395	1,461	-66	
	積立資産支出	4,776	40,394	-35,618	
その他の活動による収支	支出				
	その他の活動による支出	4,792	4,791	1	
	その他の活動支出計(8)	9,568	45,185	-35,617	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-8,173	-43,724	35,551	
予備費支出(10)					
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	51,643	32,057	19,586		
前期末支払資金残高(12)	443,523	443,523	0		
当期末支払資金残高(11)+(12)	495,166	475,580	19,586		

法人単位 事業活動計算書

第二号第一様式
自 平成 30 年 4 月 1 日 至 平成 31 年 3 月 31 日
(単位：千円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増 減
サービス活動増減の部	収入			
	児童福祉事業収益	53,273	58,197	-4,924
	就労支援事業収益	8,879	9,183	-303
	障害福祉サービス等事業収益	1,181,966	1,155,657	26,309
	受取経費寄附金収益	2,227	2,430	-203
	その他の収益	3,685	2,292	1,393
	サービス活動収益計(1)	1,250,031	1,227,759	22,272
	費用			
	人件費	927,234	890,485	36,749
	事業費	85,204	82,964	2,240
事務費	133,079	121,991	11,088	
就労支援事業費用	9,108	10,112	-1,003	
減価償却費	70,016	63,089	6,926	
国庫補助金等特別積立金取崩額	-19,326	-17,131	-2,195	
その他の費用	2,342	6,029	-3,687	
サービス活動費用計(2)	1,207,657	1,157,539	50,118	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	42,374	70,220	-27,846	
サービス活動外増減の部	収入			
	受取利息配当金収益	19	10	9
	その他のサービス活動外収益	11,365	13,028	-1,664
	サービス活動外収益計(4)	11,384	13,039	-1,654
	費用			
	支払利息	1,506	1,519	-12
	その他のサービス活動外費用	4,003	4,325	-321
	サービス活動外費用計(5)	5,510	5,844	-334
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	5,875	7,195	-1,320
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	48,248	77,415	-29,167
特別増減の部	収入			
	施設整備等補助金収益	13,175	51,161	-37,986
	固定資産受贈額	22,037	108	21,929
	その他の特別収益	1,419	872	547
	特別収益計(8)	36,631	52,141	-15,510
	費用			
	基本金組入額	21,616	25,534	-3,918
	固定資産売却損・処分損	0	17,538	-17,538
	国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	0	-6,682	6,682
	国庫補助金等特別積立金積立額	13,175	51,161	-37,986
特別費用計(9)	34,791	87,551	-52,760	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	1,840	-35,410	37,250	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	50,088	42,005	8,084	
前期繰越活動増減差額(12)	615,318	548,286	67,032	
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	665,407	590,291	75,116	
繰越超過の活動増減	基本金取崩額(14)	0	25,534	-25,534
	その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
	その他の積立金積立額(16)	35,616	507	35,109
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	629,791	615,318	14,472

法人単位 貸借対照表

令和 3 年 3 月 31 日 現在

第三号第一様式

資 産 の 部				負 債 の 部			
科 目	当年度末	前年度末	増 減	科 目	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	551,118	642,373	-91,254	流動負債	162,526	281,888	-119,362
現金預金	358,180	398,351	-40,171	事業未払金	63,868	63,593	275
事業未収金	190,804	191,390	-586	その他の未払金	0	124,405	-124,405
未収補助金	0	51,161	-51,161	1年以内返済予定設備資金借入金	23,944	23,377	567
立替金	278	36	242	1年以内返済予定リース債務	591	591	0
前払費用	1,856	1,435	422	預り金	43	57	-14
固定資産	1,372,390	1,356,211	16,179	職員預り金	10,019	9,649	370
基本財産	924,016	930,832	-6,815	仮受金	81	41	40
土地	261,340	246,681	14,659	賞与引当金	63,980	60,175	3,805
建物	662,676	684,150	-21,474	固定負債	326,311	347,578	-21,267
その他の固定資産	448,374	425,380	22,995	設備資金借入金	274,103	298,047	-23,944
建物	162,942	184,992	-22,049	リース債務	1,773	2,413	-640
構築物	3,649	4,141	-491	退職給付引当金	50,435	47,118	3,317
機械及び装置	6,813	7,111	-298	負債の部合計	488,837	629,466	-140,629
車輜運搬具	4,364	369	3,995	純 資 産 の 部			
器具及び備品	15,073	15,694	-621	基本金	253,381	231,765	21,616
有形リース資産	2,364	2,955	-591	1号基本金	253,381	231,765	21,616
権利	1,554	1,699	-145	国庫補助金等特別積立金	357,667	363,818	-6,151
ソフトウェア	1,551	0	1,551	その他の積立金	193,832	158,216	35,616
退職給付引当資産	50,435	47,118	3,317	修繕費積立金	47,566	26,564	21,003
修繕費積立資産	47,566	26,564	21,003	備品等購入積立金	19,035	19,033	2
備品等購入積立資産	19,035	19,033	2	施設整備積立金	126,131	112,120	14,011
施設整備積立資産	126,131	112,120	14,011	工賃変動積立金	1,100	500	600
工賃変動積立資産	1,100	500	600	次期繰越活動増減差額	629,791	615,318	14,472
差入保証金	1,725	1,725	0	(うち当期活動増減差額)	50,088	42,005	8,084
長期前払費用	4,057	1,346	2,711	純資産の部合計	1,434,671	1,369,118	65,554
その他の固定資産	14	14	0	負債及び純資産の部合計	1,923,509	1,998,584	-75,075
資産の部合計	1,923,509	1,998,584	-75,075				

新型コロナウイルス 感染対策

手洗いの、5つのタイミング

公共の場所から帰った時



咳やくしゃみ、鼻をかんだ時



ご飯を食べる時



前と後!

病気の人のケアをした時



外にあるものに触った時



対策その1 勤務時間中、マスクは正しく着用しよう!



マスクは正しく着けなければ意味がない!



感染者発生時のシミュレーション訓練の風景

あゆみ苑成人寮 withコロナ

あゆみ苑成人寮では、月に一回、スタッフが市の新型コロナウイルスの抗原検査を受けています。その検査では今のところ陽性者は出ておりませんが、陽性者が出たという想定のもと、検査結果判明後に訓練を行っています。

昼食時にコロナ陽性者が出たときを想定し、十一時三十分から十四時まで訓練をしています。各棟を施設し、マスク、フェイスシールド、手袋、ガウンをつけ、食事は全て居室でお弁当をとり、緊張感をもって支援にあたっています。最初は見慣れないガウン姿に落ち着かなかった利用者さんたちでしたが、回数を重ねるにつれ少しずつ落ち着いて訓練できているように感じています。ガウンについては、福山市のNPO法人から寄贈頂いたものをありがたく使っています。

またこの訓練以外にも、食事前の手洗いや消毒の徹底、歯磨き時のフェイスシールドの着用、外出等の自粛を常に行っており、コロナ陽性者が出ないよう日々支援しています。その甲斐もあって、現在コロナ感染者ゼロの状態を継続できています。今後皆さんが健康に元気で暮らせるよう、コロナ対策を万全に行っていきたいと思えます。

あゆみ苑成人寮

山下 和朗

あゆみ苑成人寮



福山六方学園



福山六方学園の withコロナ

withコロナの生活が始まって一年以上が経過し、マスク着用と手指衛生、アルコール消毒液を携帯する生活が通常になりました。

施設に「持ち込まない」「拡げない」ために感染対策を続けています。福山六方学園でもスタンダードアルコール消毒を玄関に置いてみました。気になって倒す方がいるかもと心配しましたが、学校帰りの手指衛生に使用しています。(写真あり) 支援職員のアルコール携帯ボトルも、使いやすいタイプのボトルを探し、二種類の中から各職員が選択し、変更しました。長引く感染症対策ですが、無理なく続けていけるよう工夫しています。

職員会議の時間などを使い、「各舎のゾーン・動線の確認」「感染時の防護具の着脱」「感染者発生時の食事時の支援」など少しずつ感染者発生時のシミュレーションも行なっています。

また、会議の時間を利用して研修で学んだ内容の伝達も行いました。主には新型コロナウイルスの特徴や感染経路についての再確認とマスクのつけ方、手指衛生のタイミングなど感染症対策のポイントについてです。(図あり) 七月初めには、平時からの保健所との連携として福山市内の病院から医師と感染管理認定看護師の方に来園いただき、感染症対策の指導を受ける予定です。正しい情報・対策方法を知り、今後も感染症対策を続けていきます。

看護師 渡壁 玉喜

三密(密閉・密集・密接)の回避、ユニバーサルマスクング、手指衛生などの基本的対策を続けるのはもちろんですが、心身を整えウイルスに負けない身体でいること(免疫力の維持)も重要になってくると考えます。



児童帰園時の手指消毒の様子



出会いを大切に



平成十四年八月より本会の監事に就任頂いておりました佐藤多恵子さんが、令和三年六月で退任されることとなりました。佐藤さんは業務監査を担当され、いつも優しい眼差しで利用者さんや職員を見守り続けてくださいました。毎年五月になると、各事業所の管理者は、前年四月から三月までの業務を振り返り、緊張の面持ちで監査に臨みます。決められたルールに沿って運営されているかどうかをチェックされ、時にはご指導を頂戴することもありますが、業務運営について聞取りされるうちに、いつしか予定の時間をオーバーして管理者の困りごとを相談させて頂いたというエピソードを伺ったことがあります。事務局の実務の面では、改善したほうがいい点について、「この内容は、こうしたほうがいいですよ。」「資料作成にはこのようなものを参考にしたらいいですよ。」「と連絡を頂くこともありました。記述間違いの場合はもちろんのことですが、インターネットで検索しても求めている情報にヒットせず、なんとなく腑に落ちないモヤモヤとしたものを抱えているときに「ご指導頂けたことは、救われたような気持ちになりました。」

また、生活介護事業所さわらびを訪問されたときには、利用者さんが日中活動で制作された作品を興味深くご覧になり、そのなかからプレゼントされた作品を嬉しそうにお持ち帰りになりました。後日、私が佐藤さん宅を訪問すると、その作品を玄関に飾っておられたことも印象に残っています。

いつも「出会いを大切に」とおっしゃられていた佐藤さんの言葉を胸に、私たちは「指導頂いた多くのことを糧に今後更にも研鑽に努めていきたい」と思います。長い間、本当にありがとうございました。

事務局 山本 由紀子

Let's Study



発達障害児者の問題行動 その理解と対応マニュアル

志賀 利一 著



強度行動障害の対応について、施設職員であるなら誰もが一度は頭を悩ますものです。この分野で著名な志賀先生の本から今回は「発達障害児者の問題行動」を取りあげます。p74「何の関係しているかわからない」とp84「問題行動をなくす名人はいない」の2項が特に印象に残りますが、紙面の都合上、後者のみを取りあげてみます。

「問題解決はチーム力である」ことが夙に強調されて、優秀なチームの特徴が以下、6つ記されています。

- ①問題行動に固執しない（問題行動が起きていない時にこそ注目し、その人がどのような日常生活を営んでいるのか、本人の興味や関心、余暇や対人などに目を配って、情報収集を怠らない）。
- ②一人一人の特徴をつかんでいる（障害特性への理解が深く、個性を理解する力も長けている）。
- ③チームの力量を知っている（限界を知り、問題解決はチームで実行可能なものを選択している）。
- ④周囲の資源の活用・調整方法を知っている（人脈が豊富で、外部の専門家と連携ができる）。
- ⑤変化を恐れない（仮説や計画の変更、実施手続きの変更、職員配置や日課の変更、チームメンバー自体の変更など多種多様な変化を許容できる）。
- ⑥長期的な変化を共有できる（短期の計画のみならず、長期の目標についても、機会があるごとに議論し、一定の方向性を見いだせる）。

上記に加えて、個人的な感想としては、以下の5つをあげておきたいです。

- ①計画-実行-検証（Plan-Do-See）の不断の円環に耐えていける胆力。
- ②障害特性と問題行動を（大雑把でもいいので）結びつけられる見識。
- ③個人の内的な問題（障害だから仕方ない等）に全て帰属させるのではなく、常に環境との相互作用で問題行動が生起していることを忘れない。
- ④フラッシュバックへの介入の知見が今後、積み重なってほしい。
- ⑤ないものねだりではなく、今ある環境の中で何ができるか。また他責的ではなく常に内省的である。

ふぁんたす 公認心理師 井上 勝将

●広島県共同募金会様より車両を寄贈いただきました



広島県共同募金会様より「令和二年度NHK歳末たすけあい配分金」を受け、あゆみ苑成人寮に「トヨタルーミー」がやってきました。新しい車両を寄贈いただいたおかげで、入所者の送迎・外出などで大活躍しています。ありがとうございました。

●社会福祉法人清水基金様より車両を寄贈いただきました



社会福祉法人清水基金様より「二〇二〇年度社会福祉法人助成事業」を受け、サポートセンターひびきの家に「スズキエブリイ」がやってきました。新しい車両を寄贈いただいたおかげで、利用者の通院・外出などで大活躍しています。ありがとうございました。

ありがとうございました (2021.4.1~2021.6.30)

*お名前・グループ名のみ紹介し、お礼にかえさせていただきます。(敬称略・順不同)
*保護者・職員については記載していませんので、ご了承ください。

ご寄贈・ボランティア訪問

ご寄贈 ・ 匿名1名 ・ 関係者6名

実習生・交流

保育士	4月12日~10日間	穴吹国際みらい専門学校	1名
	4月29日~10日間	福山市立大学	4名
	5月10日~10日間	福山平成大学	5名
	6月21日~10日間	比治山短期大学	2名

今後の予定

※コロナウイルスの影響により、行事が中止となっております。